有機デバイス・物性院生研究会の参加 について（報告）

チャプター名	千葉大学スチューデントチャプター
開催日時	2023 年 10 月 5 日～10 月 7 日
場所	広島大学　東広島キャンパス
参加者	2 名（内応用物理会員 2 名）

目的

外部のスチューデントチャプター(SC)が実施する研究会に参加することで、今後の千葉大学 SC で学生主体の研究会を行うことの意義と運営方法について学び指針を立てる。

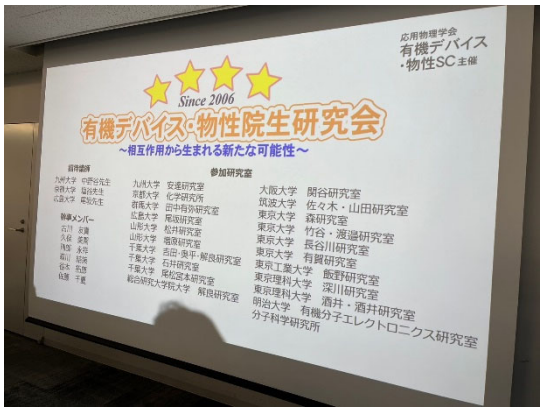
内容

今回で第 18 回目となるこちらの研究会は 50 人以上の参加者のほとんどが学生であり、幅広い分野の学生が 3 日間にわたって口頭発表とポスターセッションにて活発に議論を交わしていた。運営方法も予稿の確認から参加者への連絡、セッションでの座長などの役割を複数の研究室の学生へ割振り、学生のみの実行員会で運営されていた。

代表の田村と副代表の米田は前 2 日間参加し、1 日目のポスターセッションでは発表を行った。両者とも物理系の研究であり、有機を主に扱うこちらの研究会とは分野が離れていたにもかかわらず、互いに学生ということで抵抗なく積極的に質疑応答ができ、時間が余ることなく活発に新しい視点からの質問や考えを共有できる大変有意義な議論が行われた。懇親会も含めて異なる分野の学生と交流を深められたことで研究以外にも、より近い視点での今後のキャリアについて話し合う機会にもなった。

結果

今回の出張を通して学生主体の研究会ならではの利点として、学生のみの参加であるからこそ基礎的な質問でも躊躇うことなく聞くことができ、また自らの考えも積極的に伝えて、忖度なく議論できた。#このような機会は、総合大学である千葉大学 SC にも必要であると感じたため、今後学生だけのポスターセッションを学内で開催することも検討する。



参加研究室の一覧・ポスターセッションの様子